

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございます。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、本書に記載の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

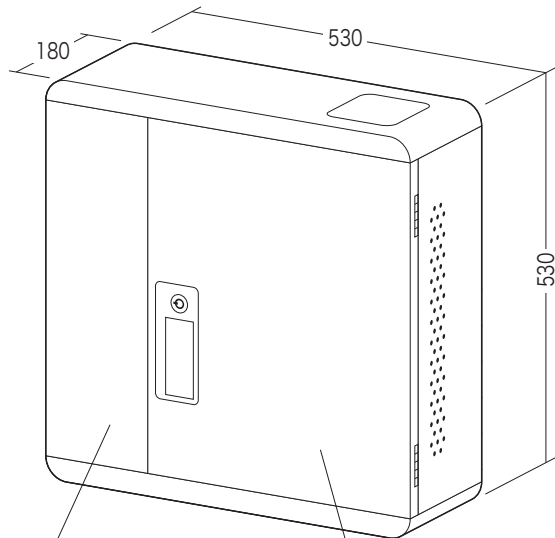
★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）  
プラスドライバー、電動ドリル、プラスチックハンマー

**必ずお守りください**

**本製品の取付けには特別な技術が必要ですので、  
必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。  
お客様による工事は一切行わないでください。**

※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に壁面を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて取付けてください。
- 作業は必ず大人二人以上で行ってください。
- 組立説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面に取付けボルト、アンカーが残ります。ご了承ください。
- 本製品を長期間設置しますと、収納機器の熱や空気の流れて壁面が変色することがあります。ご了承ください。



アダプタ収納部有効内寸：  
W35×D51×H150mm(1ヶ所あたり)

機器収納部有効内寸：  
W350×D225×H150mm(1ヶ所あたり)

**総耐荷重 10kg**

**安全上のご注意 (必ずお読みください)**

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。
- この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。
- この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

**取付け場所について**

**警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡  
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- 強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のあたる場所には取付けしないでください。  
火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- エアコンの近くやホコリの多い場所には取付けしないでください。  
火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- 通風孔をふさぐような場所や、天井には取付けしないでください。  
火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 壁面は収納機器と本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。  
その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。
- 壁面には耐荷重の4倍の力に耐える強度が必要です。

**注意** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性  
または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- 屋外には設置しないでください。
- 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、  
最適な取付け方法を決めて工事してください。
- 本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。
- 鉄柱や鉄骨には取付けできません。

**取付け方法について**

**警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡  
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

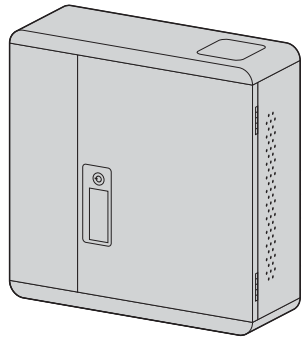
- 耐荷重を超える機器を収納しないでください。また、手をついたり、寄り掛かったり  
しないでください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 専門の取付け工事業者以外には取付け工事を行わないでください。  
工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

**取付け後のご使用について**

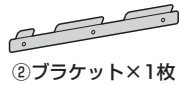
**警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡  
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ぶら下がったり、コードを引っ張るなど、荷重をかけないでください。  
落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 損傷しているケーブルは使用しないでください。
- ケーブルを延長ケーブルに接続しないでください。
- 本製品の上に物を置いたり、立ったり、登ったりしないでください。
- 角度やボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。  
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 異常が発生した時は電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。  
落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。  
落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- 本製品をコンセントに接続する際や機器の充電ケーブルを本製品のタップ部に接続する  
際は必ず製品の電源を切ってください。
- 使用中はドアを閉じたままにしておいてください。

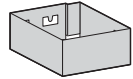
## 組立て部品



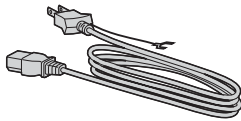
①本体×1台



②ブラケット×1枚



③アダプタホルダー×1個



④電源ケーブル×1本



⑤ケーブルクランプ×1個



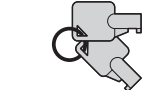
⑥ケーブル抜け止め×1個



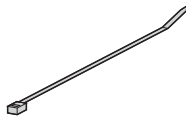
⑦アンカー×5本



⑧ワッシャー×5枚



⑨鍵×2本

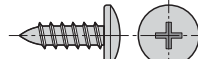


⑩ケーブルタイ×12本

### 使用ボルト



⑪タッピングボルトA×5本 (4×33)



⑫タッピングボルトB×5本 (5×16)

※部品の欠品や破損があった場合は、品番 (CAI-CAB52など) と上記の部品番号 (①~⑫) と部品名 (鍵など) をお知らせください。

## 取付けの前に

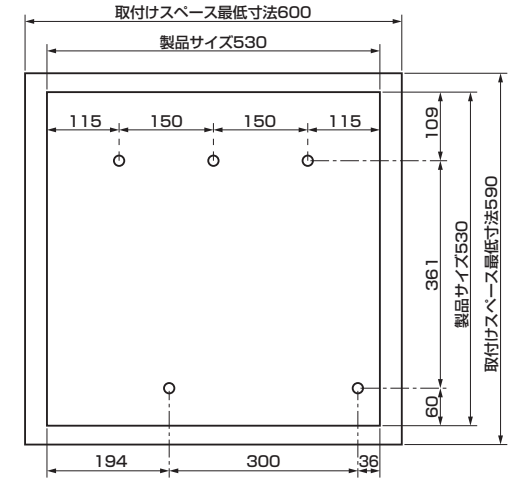
⚠ 必ずアース接続可能なコンセントに接続してください。

⚠ 電源ケーブルの長さを事前に確認してください。

⚠ 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。本書に記載してある取付け方法を参考にして、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて工事してください。

## 1 壁の下穴をあける位置に印を付けます。

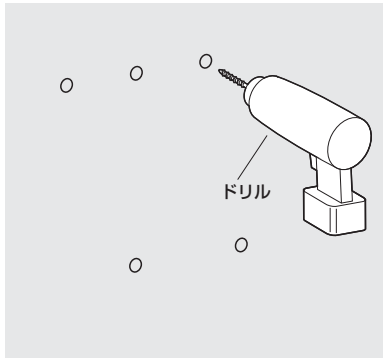
※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。壁面は耐荷重10kgと本製品(約10.8kg)を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。  
※放熱のため、取付けスペース最低寸法を確保してください。



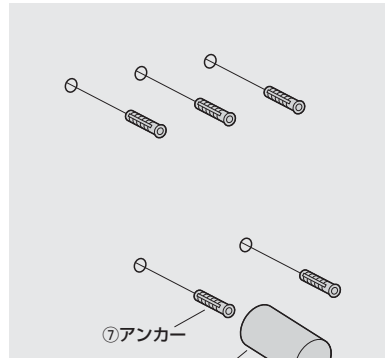
## 2 壁にドリルで下穴をあけます。

### <コンクリートの壁への取付け>

①ドリルを使い壁に印をつけた5ヶ所に直径6.3~6.5mm、深さ25~30mmの下穴をあけます。

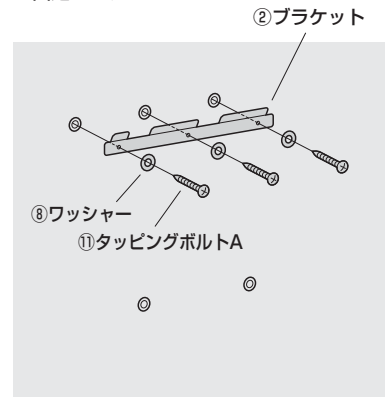


②下穴にアンカーを差し込みます。

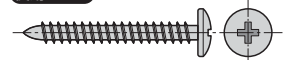


プラスチックハンマー  
※アンカーが入りにくい場合に叩き入れます。

③タッピングボルトAでブラケットを固定します。



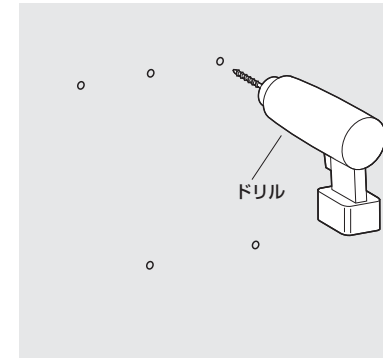
### 使用ボルト



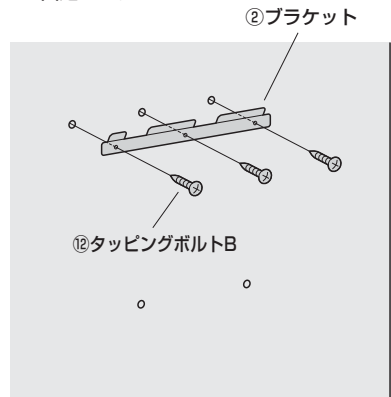
タッピングボルトA (4×33)

### <木製の芯材がある壁への取付け>

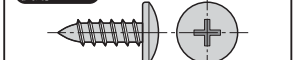
①ドリルを使い壁に印をつけた5ヶ所に直径3.5mm、深さ8~10mmの下穴をあけます。



②タッピングボルトBでブラケットを固定します。



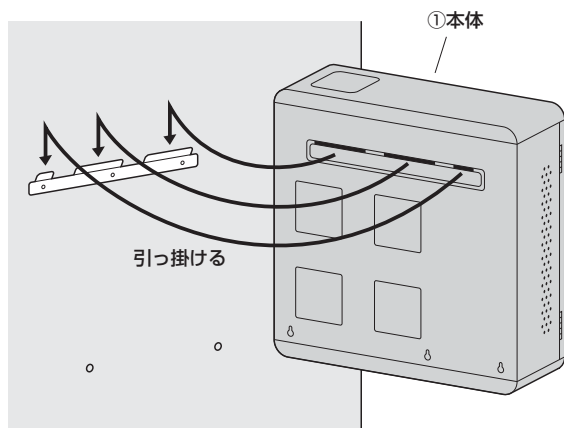
### 使用ボルト



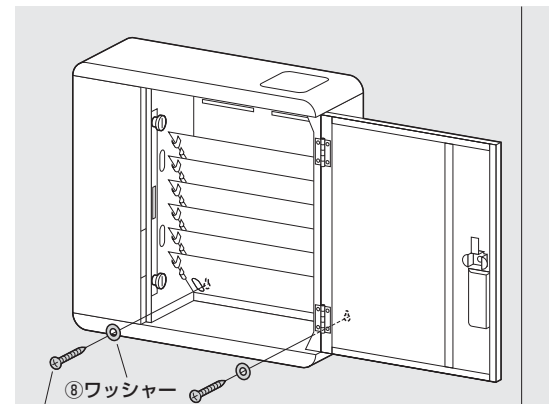
⑫タッピングボルトB (5×16)

### 3 ブラケットに本体を引っ掛け、壁に固定します。

①ブラケットに本体を引っ掛けます。



②タッピングボルトで固定します。



アンカー使用の場合：タッピングボルトA  
アンカー不使用の場合：タッピングボルトB

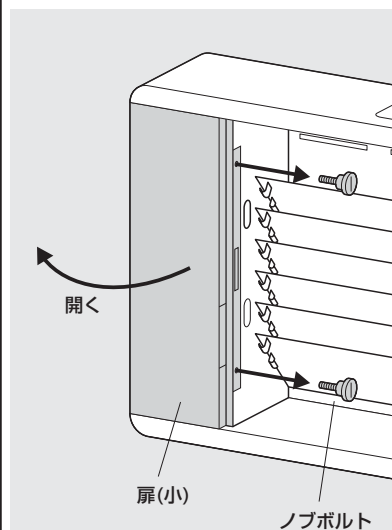
使用ボルト



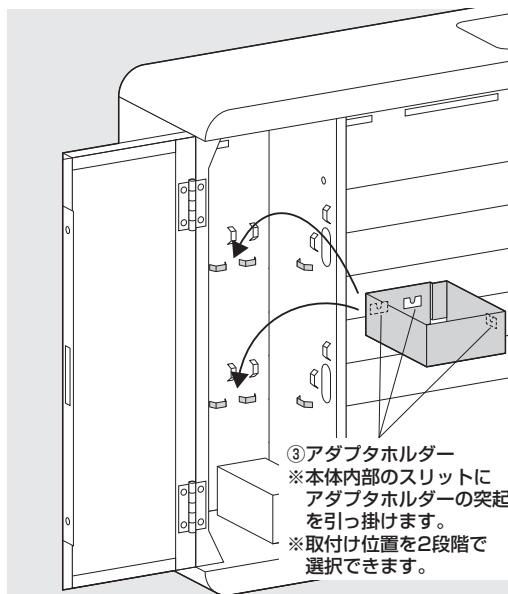
タッピングボルトA (4×33) タッピングボルトB (5×16)

### 4 アダプタホルダーを取付けます。

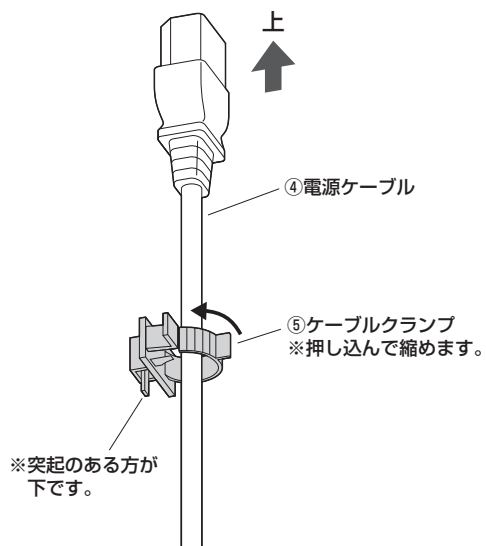
①扉(小)のノブボルトを取外します。



②アダプタホルダーを取付けます。

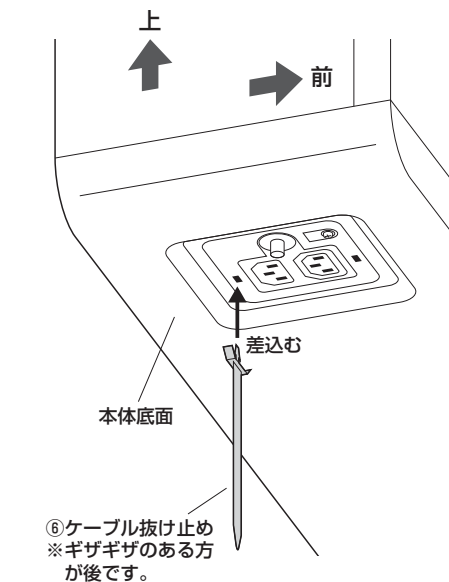


### 5 電源ケーブルにケーブルクランプを取付けます。

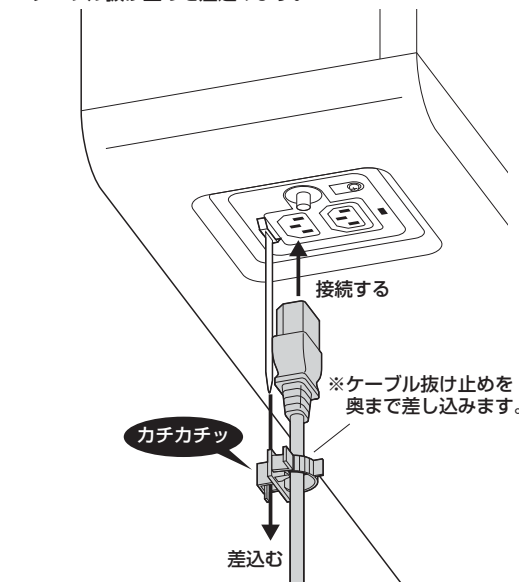


### 6 本体底面に電源ケーブルを接続します。

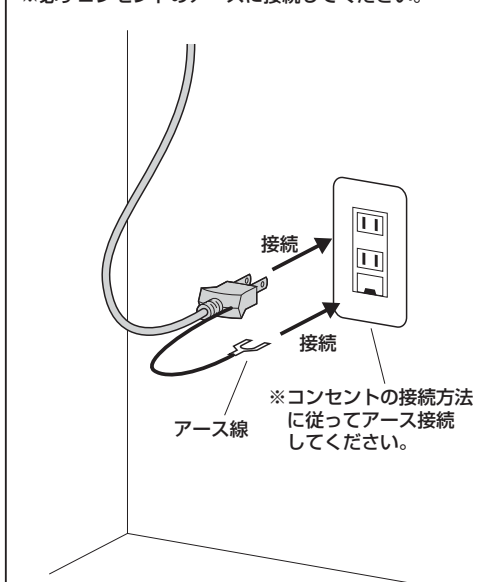
①本体底面にケーブル抜け止めを取付けます。



②電源ケーブルを接続し、ケーブルクランプの穴にケーブル抜け止めを差込みます。



③電源ケーブルをコンセントに接続します。  
※必ずコンセントのアースに接続してください。

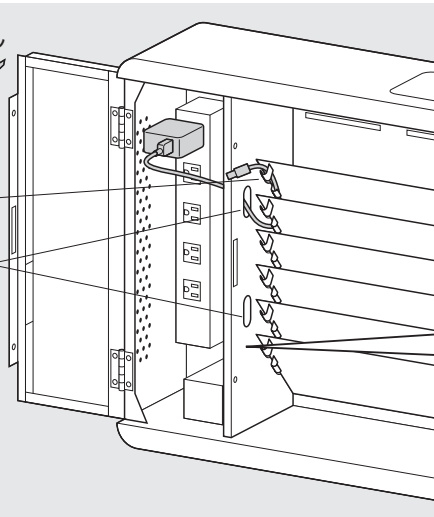


## 8 機器の充電用ケーブルを接続します。

⑩ケーブルタイ  
※必要に応じてケーブルを束ねます。

ケーブルフックに充電ケーブルを引っ掛けます。

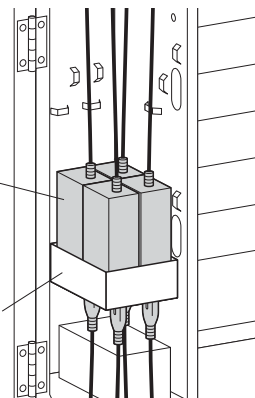
上下どちらかの穴にケーブルを通します。



アダプタを収納する場合  
機器のアダプタはアダプタホルダーに4個まで立てて収納できます。

機器のアダプタ

③アダプタホルダー

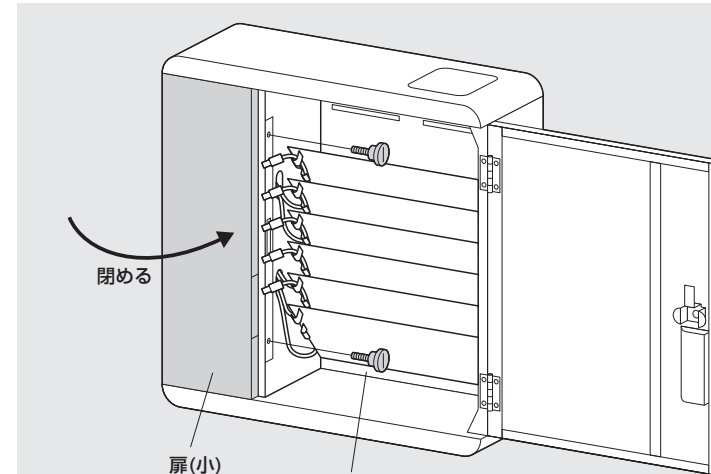


## 9 扉(小)をノブボルトで固定して完成です。

閉める

扉(小)

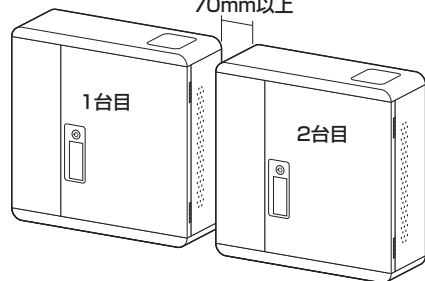
⑧ノブボルト



## デジーチェーン接続方法 デジーチェーン接続すると、1ヶ所のコンセントから複数の本製品に電源を供給できます。

①本体を70mm以上隙間をあけて壁に取付けます。  
※1台目の電源ケーブルがアース接続可能なコンセントに届く位置に取付けてください。

70mm以上



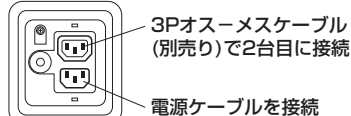
アース接続可能なコンセント



②電源ケーブル、3Pオスメスケーブル(別売り)を接続します。

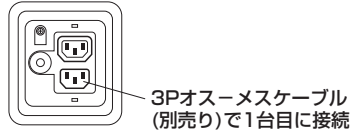
前

1台目底面

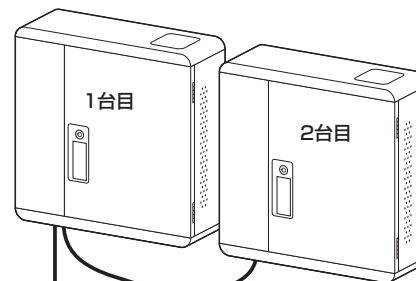


前

2台目底面



③1台目の電源ケーブルをコンセントに接続します。  
※必ずコンセントのアースに接続してください。



## 仕様

サイズ・重量	W530×D180×H530mm・10.8kg
定格入力	AC100-120V 50/60Hz 12A
定格出力	AC100-120V 50/60Hz 12A (合計1200Wまで)
対応機種	収納部W350×D225×H15mm に収納可能な重量2kgまでの ノートパソコン・タブレット
収納台数	5台

※ノートパソコン・タブレットを接続・充電するケーブルは付属していません。  
純正ケーブルまたは適切なケーブルをご使用ください。